

学級で気になる子どもたちへの支援

—子どもたちの笑顔のために 子どもの目線で—



日立市立金沢小学校 須藤 貴志

- はじめに
- 気になる子について(復習)
- 本校の取り組み
 - ・事例1 通常の学習場面で
 - ・事例2 通常と違った活動場面で
 - ・事例3 その他
- まとめ

はじめに

○日立市立金沢小学校

児童数 373名(11/1現在)

学級数 通常の学級 12

特別支援学級 7

(知的2, 自・情4, 言語1)



○私の仕事

・自閉症・情緒障害特別支援学級担任(7名在籍)

・総合コーディネーター

特別支援教育コーディネーター
生徒指導主事

気になる子について(復習)

気になる行動

- ・出歩く
- ・落ち着きがない
- ・乱暴な行動をする
- ・泣き叫ぶ, パニックを起こす
- ・ルールが守れない
- ・片付けられない
- ・やらない
- ・書かない 等

子どもからのメッセージ

「なぜそのように行動するのか」
背景を考える
何かに困って(とまどって)いる

「わがまま, なまけ」等とした時点で支援放棄

気になる子について(復習)

何に困っている?

先生

何を言っているの?
何をしているの?

生活

今日の予定は?
約束? ルール?

学習・活動

何をやるの?
どこまでやるの?
できない わからない

友だち

友だちになりたい
暗黙のルールがわからない

不安や自信のなさ

気になる行動=気になる子

本校の取り組み

○支援のとらえ方 取り組みの柱

気になる子への支援 ↔ すべての子への支援

児童理解に基づいた一人一人を生かす
集団づくり・授業づくり

教師の基本姿勢は

ほめる, 認める, 勇気づける

勇気づける=評価ではなく共感し寄り添う

事例1 通常の学習場面で

一人一人への肯定的な言葉かけ

○ 愛知教育大 志水廣先生の「○つけ法」を参考に
した取り組み

・「○つけ法」とは？

机間指導で、子ども一人一人の解決過程
に対して、**肯定的に評価**し、即時に指導を行
いながら赤ペンで○をつけていく方法

(志水 2004)

見通しがもてる言葉かけ

事例1 通常の学習場面で

肯定的な言葉かけ



教:「なるほど。」
教:「いい考えだね。」
教:「おもしろいね。」
子:「新しい考えができたよ。」
教:「おっ! 素晴らしいね。」



意欲が増す子どもたち ← ○をもらおうとみんな笑顔に

事例1 通常の学習場面で

見通しがもてる言葉かけ



子:「先生! 早く来て。」
教:「Bさんの次に行くよ。
CさんはDさんの次ね。」



安心する子どもたち

事例1 通常の学習場面で

一人一人が生きる対応

離席してしまうことがあるE児への対応

安心できる指示

教:「先生の近くの教卓の下に
いていいよ。」



認め合える温かい学級

教:「Eさん出番です。」
E: 無言だが**笑顔**でカードを黒
板に貼り付ける。
教:「**ありがとう**」
他児童:「**Eさんご苦労様**。」

事例1 通常の学習場面で

視覚情報の活用

見ればわかるルール



事例1 通常の学習場面で

視覚情報の活用

見通しのもてる掲示



事例2 通常と違った活動場面で

健康診断での視覚情報の活用

余分な刺激のない環境構成
教師が話さなくてもよい静かな環境構成



事例2 通常と違った活動場面で

健康診断での視覚情報の活用

立つ位置を示す



視力検査



歯と口の健康診断

事例2 通常と違った活動場面で

健康診断での視覚情報の活用

順路を示す



内科検診

事例2 通常と違った活動場面で

健康診断での視覚情報の活用

見ればわかる方法・流れ・ルール



聴力検査



歯と口の健康診断

事例2 通常と違った活動場面で

健康診断での視覚情報の活用

見ればわかる方法・流れ・ルール



心臓検診 1年生



ルール

事例3 その他

子どものよさを家庭に伝える

連絡帳の活用

担任Aから

今日、体育館で理科で作ったモーターカーを走らせる授業をしました。〇〇さんは、モーターカーが動かなくなってしまった友だちにアドバイスをしてくれたり直してくれたりして、とても助かりました。困っている友だちに対して親切にしてあげようとする気持ちが私とてもうれしかったです。家でもぜひほめてあげてください。

〇〇さん保護者から

お世話になります。私が帰宅したらいつも自らは見せない連絡帳が机上にありました。何か…。と思っておりました。うれしい報告でよかったです。学校という集団生活でたくましく成長していることをうれしく思います。これからもご指導のほどよろしくお願いたします。

事例3 その他

子どものよさを家庭に伝える

連絡帳の活用

担任Bから

今日は、算数の問題がわからなくて困っている友だちに優しくアドバイスをしてあげることができました。友だちの気持ちを考えて行動でき、とてもうれしく感じたのでお知らせします。ご家庭でもぜひ声かけをお願いいたします。

△△さん保護者から

連絡ありがとうございました。△△に聞いてみたら、自分も友だちに教えてもらったから自分も友だちに教えてあげたと言っていました。私もうれしい気持ちになりました。

(参考) 言葉かけ ×

否定的・命令的な言葉かけ

- ・〇〇してはダメ!
- ・いつも〇〇なんだから
- ・何やってるの!
- ・早くしなさい!

皮肉に聞こえる言葉かけ

- ・やればできるんじゃない
- ・今日は〇〇なんじゃない

(参考) 言葉かけ ○

肯定的な言葉かけ

- ・「走らない!」 → 「歩きます!」
- ・「何やってるの!」 → 「どうしたの?」
- ・「〇〇しちゃだめ!」 → 「△△できるといいな」

見通しがもてる言葉かけ

- ・「それ片付けて」 → 「〇〇を□□の箱に入れます」
- ・「早くしなさい!」 → 「〇分までに△しようね。」

(参考) 言葉かけ 通訳(共感)

気持ちを言語化してやる

- ・「本当はどうしたかったの?」
そんなときには、〇〇って言えばいいんだよ。
- ・「その時はどんな気持ちだったの?」
そんなときには、〇〇って言えばいいんだよ。
- ・「〇〇さんが怒っているのは、△△だからなんだよ」

まとめ

子どもからのメッセージをキャッチし、状況に応じた適切な対応が重要

- ・子どもの目線で
- ・背景をしっかりとらえる
- ・ほめる, 認める, 勇気づける
(すぐに はっきりと いろいろな方法で)
- ・言語情報と視覚情報の使い分け

その結果

まとめ



安心・安定する居場所=みんなが笑顔

子どもたちの

自己肯定感 が高まる

楽しく、充実した毎日

まとめ

子どもとともに

ある日の昼休み 教師は何人いるでしょう？



大切にしている言葉

山本 五十六の言葉より

やってみせ 言って聞かせて させてみて
ほめてやらねば 人は動かじ

(続き)

話し合い 耳を傾け 承認し
任せてやらねば 人は育たず

やっている 姿を感謝で見守って
信頼せねば 人は実らず

大切にしている言葉

私が先生になったとき
自分が 真理から目をそむけて
子どもたちに 本当のことが語れるか

私が先生になったとき
自分の未来から 目をそむけて
子どもたちに 明日のことが語れるか

私が先生になったとき
自分の理想を持たないで
子どもたちに いったいどんな夢が語れるのか

私が先生になったとき
自分に誇りを持たないで
子どもたちに 胸を張れと言えるのか

私が先生になったとき
自分がスクラムの外にいて
子どもたちに 仲良くしろと言えるのか

私が先生になったとき
一人手を汚さず自分の腕を組んで
子どもたちに ガンバレガンバレガンバレと言えるのか

私が先生になったとき
自分の闘いから 目をそむけて
子どもたちに 勇気を出せといえるのか

作者 不明

未来を担う子どもたちのために



ご清聴ありがとうございました